

岩美病院における微量採血穿刺器具の取扱いについて（お詫びとお知らせ）

当院で微量採血穿刺器具の使用状況を平成9年まで遡って調査しました

平成20年6月中旬、厚生労働省による微量採血穿刺器具の使用状況の調査が行なわれましたが、この調査に基づき、当院においても器具製造時点の平成9年まで遡って調査しました。

その結果、本来、共用してはいけないとされる微量採血穿刺器具を、複数の患者さんに使用していたことが判明しました。

この器具の針はお一人お一人交換しておりましたが…

この器具は、主に糖尿病患者さんの血糖値を測定するために使用する器具で、指先などに針を刺して、微量の採血を行なうためのものです。針は患者さんお一人お一人交換しておりましたが、針をつける器具本体及び針周辺のキャップを交換していませんでした。

これらの使用につきましては、病院の入院期間、救急外来受診時、また、いきいきフレッシュフェスティバル事業（平成10年～14年）での血糖値測定に使用したことを確認しております。

当院においては、平成18年3月に厚生労働省から「共用しないように」との注意喚起の通知があった以降は、針も含め器具自体を使い捨てのものに切り替えて使用しております。



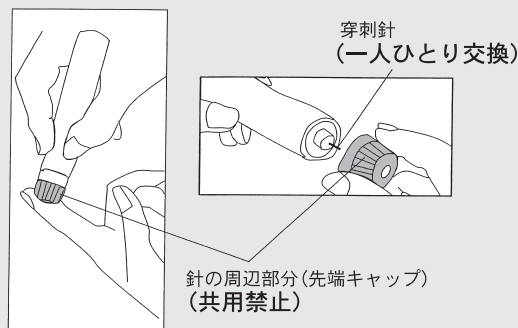
相談窓口を 設置します！

※外来受診のみの方は、この器具を使用していないことを確認していますので、感染の心配はありません。

○採血用穿刺器具とは？

血糖値の測定等における微量採血を目的とする穿刺針を装着するために用いる器具。この度は、針周辺のキャップ部分の共用が問題となっていますが、このことによると疑われる感染事例は国内では未だ報告されていません。（平成18年3月厚生労働省通知より）

なお、針周辺の器具からの感染の危険性は極めて低いと思われませんが、当院ではご不安をお持ちの方に対し、相談窓口を設置し、お問い合わせ・ご相談に応じることとしております。町民の皆様、患者の皆様にご心配をおかけすることとなり深くお詫び申し上げます。



通常の採血や注射はどうしてますか？

お一人お一人に使い捨ての注射器を使用しております。従って使用後は全て廃棄しており、感染の危険はありません。

